

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（青森県 平成30年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名) ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名) ②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②										成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(平成25年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	4年後(平成29年)	5年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率	計画時(平成25年)	1年後(平成26年)				2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	4年後(平成29年)	5年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率	交付金	県費	市町村費	その他											
			むつ市	株式会社斗南（農事組合法人斗南養鶏）	採卵鶏 採卵鶏における年間産卵量を1.14%増加	21.85 kg/羽年	22.10 kg/羽年	22.10 kg/羽年	22.20 kg/羽年	22.10 kg/羽年	22.10 kg/羽年	22.10 kg/羽年				22.10 kg/羽年	100.0%	年間産卵量が1.14%増加した。	採卵鶏 採卵鶏100羽当たり労働時間を53.1%削減	59.37h/100羽	54.89h/100羽	47.49h/100羽	37.26h/100羽	29.20h/100羽	27.51h/100羽				27.81h/100羽	101.0%	採卵鶏100羽当たり労働時間が53.6%削減した。	畜産物共同利用施設整備、家畜飼養管理施設、ウインドレス鶏舎及び付帯設備10棟9342.6㎡、集卵棟435.48㎡				

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成25年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	目標値 (平成30年)	達成率				計画時 (平成25年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	目標値 (平成30年)	達成率				交付金	県費	市町村費	その他				
平川市	津軽みらい農業協同組合	土地利用型作物(主要農作物種子) 水稲・大豆(種子)	事業の対象となる水稲種子及び大豆種子の合格率が100%	水稲種子及び大豆種子合格率 100%	水稲種子及び大豆種子合格率 100%	水稲種子及び大豆種子合格率 100%	水稲種子及び大豆種子合格率 100%	100%	土地利用型作物(主要農作物種子) 水稲・大豆(種子)	水稲種子及び大豆種子生産者2名以上増加させる。	種子生産者 252名 水稲種子生産者 187名 大豆種子生産者 65名	種子生産者 259名 水稲種子生産者 172名 大豆種子生産者 87名	種子生産者 276名 水稲種子生産者 219名 大豆種子生産者 57名	種子生産者 262名 水稲種子生産者 197名 大豆種子生産者 65名	240%	水稲種子及び大豆種子生産者が目標より14名増加し、目標を達成した。	乾燥調製施設(種子センター) 建屋 953.26㎡ 荷受設備 20t/h 乾燥設備 81t/日 (10t×6基, 7t×3基) 精選待ちタンク設備 120t×5基 計量出荷設備 集排塵設備 <年間処理量> 水稲種子: 1,285t生籾 大豆種子: 84t生大豆	655,209,000	303,337,000			351,872,000	平成28年8月8日	種子センターの整備により、品質の向上のほか、オペレーターの負担軽減にも繋がっている。また、高性能大豆選別機の導入により、これまでの手作業による多大な労働力と人件費の大幅な削減と高品位大豆種子の安定供給が可能となり、大豆収穫量増加と面積拡大にも期待できる。 今後は、種子センターを活用し、計画的かつ効率的な収穫作業を進め、経費負担の削減及び労働時間の削減を図るほか、大豆収穫量増加と面積拡大を目指す。	導入した施設の効率的な利用に加え、生産段階におけるさらなる省力・低コスト化に向けた効果的な技術の導入・定着を図り、生産・出荷両面から、優良種子の安定生産体制を確保することが重要である。		

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率				計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率				交付金	県費	市町村費	その他				
				全出荷量 1,009 t 契約取引量 503 t	全出荷量 765 t 契約取引量 554 t	全出荷量 885 t 契約出荷量 755 t	全出荷量 1,215 t 契約取引量 1,007 t					当該品目の単位面積当たりの販売額を15%以上増加	1,441,762円 /10a (総販売金額262,400,684円÷栽培面積18.2ha) 単収5,544kg/10a (総出荷量1,009t÷栽培面積18.2ha) 単価260円/kg (総販売金額262,400,684円÷総出荷量1,009t)	1,852,365円 /10a (総販売金額4,240,424円÷栽培面積12.02ha) 単収6,364kg/10a (総出荷量765t÷栽培面積12.02ha) 単価291円/kg (総販売金額4,240,424円÷総出荷量765t)	2,426,690円 /10a (総販売金額322,749,790円÷栽培面積13.3ha) 単収6,654kg/10a (総出荷量885t÷栽培面積13.3ha) 単価365円/kg (総販売金額322,749,790円÷総出荷量885t)	2,025,000円 /10a (総販売金額364,500,000円÷栽培面積18.0ha) 単収6,750kg/10a (総出荷量1,215t÷栽培面積18.0ha) 単価300円/kg (総販売金額364,500,000円÷総出荷量1,215t)					134,851,392	62,431,000	8,020,000				
つがる市	つがるにしきり農業組合	野菜(トマト)	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合を33ポイント以上増加	49.9%	72.4%	85.3%	82.9%	107.4%	野菜(トマト)	当該品目の単位面積当たりの販売額を15%以上増加	1,441,762円 /10a (総販売金額262,400,684円÷栽培面積18.2ha) 単収5,544kg/10a (総出荷量1,009t÷栽培面積18.2ha) 単価260円/kg (総販売金額262,400,684円÷総出荷量1,009t)	1,852,365円 /10a (総販売金額4,240,424円÷栽培面積12.02ha) 単収6,364kg/10a (総出荷量765t÷栽培面積12.02ha) 単価291円/kg (総販売金額4,240,424円÷総出荷量765t)	2,426,690円 /10a (総販売金額322,749,790円÷栽培面積13.3ha) 単収6,654kg/10a (総出荷量885t÷栽培面積13.3ha) 単価365円/kg (総販売金額322,749,790円÷総出荷量885t)	2,025,000円 /10a (総販売金額364,500,000円÷栽培面積18.0ha) 単収6,750kg/10a (総出荷量1,215t÷栽培面積18.0ha) 単価300円/kg (総販売金額364,500,000円÷総出荷量1,215t)	168.9%	トマト選果機(鍵盤式2条1系列)1台、 付帯施設(製函機、梱包機、外観センサー、糖度センサー)一式	134,851,392	62,431,000	8,020,000	64,400,392	平成29年2月20日	選別設備の導入により、課題であった作業員の等級選別のバラツキがなくなる、等級比率が向上した。また、導入した糖度センサーの活用により、糖度保証したトマトを通常品よりも2割以上高く販売できた。 今後は、C・D等級品からも高糖度アイテムを出荷し、下位等級品の単価の底上げを図り、生産者個人の選果データを活用し、栽培技術の問題点を見つけ、生産者個々の栽培技術の向上を図り、さらに単収・品質の向上を目指す。	今後も、安定した単価で取引されるよう下位等級品等の販路開拓などに努めるほか、全出荷量の収量確保のために、より一層の栽培技術の向上を図ることにより、生産者の所得向上につなげることが重要である。				

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率			計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	目標値(平成30年)	達成率				交付金	県費	市町村費	その他					
野辺地町	ゆうき青森農業協同組合	野菜(こかぶ)	当該品目の上位規格品の割合を3ポイント以上増加	71.5%	69.3%	53.6%	87.1%	-114.7%	集中豪雨による裂根及び台風25号の塩害により、上位規格品の割合が18ポイント減少し、目標を達成できなかった。	野菜(こかぶ)	10a当たり販売額 885,598円 単収 5,177kg/10a 単価 170.80円/kg	10a当たり販売額 807,887円 単収 4,711kg/10a 単価 171.46円/kg	10a当たり販売額 896,227円 単収 4,596kg/10a 単価 194.99円/kg	10a当たり販売額 1,018,505円	8.0%	市場引合が強くなり、単位面積当たりの販売額は1.2%増加したが、裂根・塩害により収量を確保できず目標は達成できなかった。	集出荷貯蔵施設(真空予冷、パッケージ施設機械) 建物 1,263.5㎡ 真空予冷施設機械一式 パッケージ機械2台	323,777,520	149,897,000			173,880,520	平成29年3月17日	施設整備により、個包装による有利販売ができて、単価を引き上げることができた。 今後は、風害の多いほ場への防風対策(ウインドブレイクノルゴー等)の普及や集中豪雨被害対策に係る栽培技術指導により品質向上に取り組む。	29年度、30年度とも、低温や集中豪雨、台風により品質・収量に影響し、厳しい販売状況であったが、いずれの年も、関係機関と連携して被害防止・軽減対策技術の普及に努めている。 引き続き、高品質・安定生産に向けて関係機関と連携し技術指導等を行うほか、さらに販売強化対策を進める。		

都道府県平均達成率	88.8%	総合所見	○目標年度が平成30年度となっている4地区のうち、3地区で目標を達成している。 ○目標を達成できなかった1地区(ゆうき青森農協(野辺地町))については、関係機関と連携して気象災害の被害防止・軽減対策技術の普及に努め、より一層の栽培技術の向上を図ることに、生産者の所得向上につながる事が重要である。
-----------	-------	------	---